◇第２６回防衛大学校同窓会囲碁大会

第２６回防大同窓会囲碁大会が令和８年１０月１７日（土）、日本棋院本院（東京市ヶ谷）１階対局場において開催され、全国から５６名の同窓生が参加しました。

第２５回大会と同様、５名以上の期、４名以下の期でグループ分けした期別対抗で行われました。期で４名を確保できない場合は混成チームを編成し、５名以上のチームで参加しています。

競技は異なる期で４名１グループ、２個グループ８名の組を編成し、グループ内で総当たり３回戦を行います。その後、各グループの同順位同士による４回戦を実施し、全対局終了後、期ごとの勝ち数で順位が決定されます。

大会運営は

・大会会長　　納冨副会長（29 期）
・競技委員長　　村松來多郎（18 期）
・競技副委員長　　忽那　学　（20 期）
・当番幹事　　北村義明　（22 期）
・大会総務　同窓会囲碁担当 2 名　（ 33･34 期）

の体制で行い、大会は計画どおり進行しました。

開会式では村松競技委員長が、本大会目的は、囲碁を楽しむ事と同期、先輩、後輩の絆を深める場である旨の挨拶の後、北村当番幹事より競技ルールの説明が行われました。



開会式における村松競技委員長挨拶



北村当番幹事による競技ルール説明

競技の対局時間 80 分、選手の持ち時間一人 40 分(切れ負け)、オール互先、

先番 6 目半コミ出しで実施されました。開始前の寛いだ雰囲気から対局開始序盤は、静かな会場に選手が碁盤に石を打つ音だけが響いていました。対局が進むにつれ、早く終わった選手は談笑したり、他の対局中の試合を見守ったり徐々に賑やかになりましたが、終始和やかな雰囲気の中で競技は進行しました。





対局開始、序盤の様子





対局中盤から終盤の様子

納冨副会長（大会会長）が会場到着後、村松競技委員長、北村当番幹事に挨拶、懇談され、 村松委員長から同窓会の大会である囲碁大会への支援に感謝の意を表され、納冨副会長からは大会の開催と盛会についてお祝いを述べられました。また、折木元統幕長が同期の方々等の激励に来られました。





競技委員長、当番幹事と大会会長との懇談　　折木元統幕長(16 期)激励

閉会式では、大会会長から各グループの優勝チーム及び全勝した選手に賞品が授与され、最後に大会会長が「昨年度の参加者 62 名から今年度 56 名と約 1 割の参加者減少が寂しい状況である一方で、今回は 31 期の参加者が全勝するな

どの活躍もあり、若手の期の参加を同窓会として宣伝して囲碁大会を盛り上げていきたいと思います。」と挨拶され大会は終了しました。


賞品の授与（全勝者）


大会会長講評

大会結果は次のとおりです。

・期別対抗　５名以上チーム：優　勝　　６期
準優勝　１１期
３　位　１８期
４名以下チーム：優　勝　　４期
準優勝　１６期
３　位　２０期

・全勝者 佐古井幹夫(6 期) 、後藤健次(11 期) 、日暮正博(16 期)、郷田進(19 期)、小田英明(31 期)


５名以上の部優勝：６期


４名以下の部ブービー賞：２２期

第２７回大会は令和９年 10 月 16 日(土)に開催予定です。
多くの同窓生の参加をお待ちしています。

（33 期 海 髙橋賢悟、34 期 海 富山 修 記）